

栄養通信

第20号

「急性期病院には急性期病院ならではの経管栄養剤や食品が必要…」とNSTメンバーで様々なサンプルを試した結果、この度当院に新しい食品が2種類仲間入りしました！



① ペプタメンスタンダード（イメージはA1.5の消化吸収が速いタイプ）

当院で採用している経管栄養剤は

- 半消化態栄養剤（窒素源が蛋白質）＝メイバランス・CZ-Hi・YH フローレ・A1.5・MA-R
ラコール・エンシュアリキッドなど
- 消化態栄養剤（窒素源がペプチド）＝ハイネーゲル（医薬品無し）
- 成分栄養剤（窒素源がアミノ酸）＝エレンタール（医薬品のみ）

の3種類に分けられます。消化態栄養剤は半消化態栄養剤よりも消化吸収の速いタイプですが、今まで当院の消化態栄養剤はハイネーゲルしか採用しておらず、ハイネーゲルは最初から水分が多く含まれているデザインのため、水分制限が必要な場合や少量で栄養確保したい場合など、メニュー調整が難しく点滴やリハビリスケジュールに影響を及ぼすことがありました。

そこで登場したのがペプタメンスタンダード！スーパーヒーローのような名前をしていますが、すでにヒーローのような活躍ぶり（笑）1ml=1.5kcalのため、水分制限や注入時間の短縮（リハビリ時間の確保・褥瘡対策）など消化吸収の負担少なく栄養確保することが出来ます。

100kcal あたり	ペプタメンスタンダード (1ml=1.5kcal) 1本 200ml	ハイネーゲル (1ml=0.8kcal) 1袋 375ml・500ml
エネルギー	100kcal	100kcal
たんぱく質	3.5g	4g
脂質	4g	2.2g
水分	51g	110g
塩分	0.28g	0.42g
原料	乳清ペプチド (乳糖含まず)	大豆ペプチド コラーゲンペプチド (乳糖含まず)

ハイネーゲルも消化吸収の速いタイプになりますが、消化吸収が速いだけでなく、滴下のときは「液体」、胃の中で胃酸と反応して「勝手に半固形化」という一石二鳥の優れ物で、特に下痢の時にはオススメしたい栄養剤です（CD栄養プロトコールでも使用）。

☆2種類に増えたことで色々な使い分けが出来るため、ぜひご活用ください☆

② EPA（正式名称は「EPA1100」）

最近、病棟のあちこちで「魚臭（うおしゅう）」を感じたことはありませんか？
正体は「EPA（エイコサペンタエン酸）」で、液状の EPA 食品を院内で使い始めました。
EPA と言えば、いわし・まぐろ等の青魚に含まれる n-3 系の必須脂肪酸ですが、
実は色んな生理効果があります。

- ・ 抗炎症関連（CRP 低下・人工呼吸器使用短縮・呼吸機能改善）
- ・ 血液関連（抗血栓・血流改善・中性脂肪低下・LDL コレステロール低下）
- ・ がん悪液質（たんぱく質異化抑制・炎症性サイトカイン抑制）

当院で扱っている「エパデル」は EPA 含有量が「1 包 900mg」であることに對し、「EPA1100」は「1 包 1100mg」です。しかも、エパデルよりも数十円安く、炎症改善目的で抗生剤を使用することを考えてもコスパの良い食品となります。当院でも炎症改善や創傷治癒目的での使用で良い経験を得ることが出来ました♪

経管栄養の白湯に溶かしたり、もちろん経口摂取も OK！！ただし、工夫が必要です（下記参照）
油分であるにも関わらず、分離せずに乳化された状態で注入または摂取することが出来ます。

使用方法：白湯やジュース 100～200cc に混ぜて、時間をあけずに素早く注入または摂取。

（使用量については NST までご相談ください）

※注意① 出血性疾患や手術前は使用しない

※注意② ワーファリン使用時は増強作用に注意（必ず主治医もしくは NST 医師に確認）

♪おまけ♪ EPA を美味しく飲めるのは、どれ??(by NST 委員会)



様々な飲物で EPA ドリンクを試した結果…NST メンバーによるオススメは以下の通り！



☆2位☆
EPA のミントが
効いてる…

カロリーメイトゼ
リー

☆3位☆
強い
言うなら…

ポンジュース
(100%ジュース系)

いかがでしたでしょうか？魚臭の覚悟が出来る方、サンプルお渡します♪